



代表2人による「抱負」発表(抜粋)

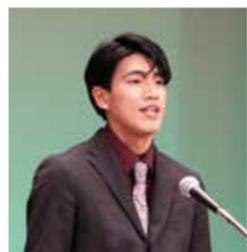
コロナ禍を乗り越え創り上げた門出の祝い



ふくい ちかこ
福井 知香子さん
(中野地区)

温かい心の看護師に

私は看護師を目指し、大学で多くの疾患や健康問題について学んでいます。患者さんの状況に応じた適切なケアを実施できる、また、誰とでも気さくに話せる温かい心を持つ看護師になりたいと考えています。私たちが今日まで成長できたのは、一番の味方であり支えてくれた家族、教え導いて下さった先生方、温かく見守って下さった地域の皆さん、共に歩んだ友人のおかげです。その感謝の気持ちを忘れずに、社会人として自覚と責任を持ち、人生を歩んでいくことを決意します。まだまだ未熟な私たちですが、今後も温かいご指導とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



ほりお ふみひと
針尾 文仁さん
(中部地区)

明るい未来を掴み取るため

20歳を迎えて約1年、COVID-19(新型コロナウイルス)が猛威を振るい、大切な人たちと一緒にいる時間や、好きなことをできることの尊さを知りました。たくさんの方の努力により、国内での感染者数は減少してきましたが、変異株の流行や諸外国の感染拡大など、僕たちを不安にするニュースが後を絶ちません。この時代に成人という節目を迎えた僕たちは、今後このウイルスの影響を受けていくと思います。しかし、今日皆さんと再会できたように、歩み続けられ、明るい未来を掴むことができると思っています。いつかマスクを取って、思い出を語って笑い合える日を楽しみにしています。

祝賀アトラクション

当日は2本のアトラクションが式典の前を彩りました。



▲恩師からのビデオメッセージ



▲里崎麻里菜さん(田平地区)の歌によるエール

平戸市 成人祝賀会

新型コロナウイルス感染症の拡大により中止を余儀なくされた令和3年の成人式。有志実行委員会により1年越しに祝賀行事が開催されました。

朝から降っていた雨も上がり、明るい日差しが降り注ぐ1月2日の午後、令和3年平戸市成人式の代替行事「平戸市成人祝賀会」が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、令和3年1月に予定されていた成人式は中止となり、新成人の皆さんは一生に1度の節目を祝うことが叶いませんでした。しかし、「晴れの日を盛大に祝い、成人としての一歩を歩み始めたい」との強い思いから、実行委員会の主催により、徹底した感染症対策を講じた上で1年越しに開催されました。



代表2人による「抱負」発表(抜粋)

社会の一翼としての出発を誓う新成人たち

令和4年平戸市成人式

昨年に引き続き開催が危ぶまれた中で、予定どおり開催された令和4年平戸市成人式。不安を乗り越え、大人としての第1歩を踏み出した新成人たちの様子をお伝えします。

新

たな門出を祝福する
ような晴天に恵まれ

た1月3日、「令和4年平戸
市成人式」が開催されました。

新型コロナウイルスの感
染状況によっては中止も危
ぶれましたが、万全の感
染対策が施され、予定どお
りの開催となりました。

当日は、男性154人、
女性111人、合計265
人の新成人が、華やかな衣
装に身を包み、友人や恩師
との再会を喜んでいました。

また式典に先立ち、ジャ
パネットたかたの創業者で
あり株式会社エーアンドラ
イブ代表取締役の高田明さ
んから、「夢を実現するこ
と」についてのメッセージが
送られました。



▲ジャパネットたかた創業者の高田明さんのビデオメッセージ

心に寄り添う医療事務員に

私は現在、福岡の専門学
校に通っており、この春か
ら整形外科の医療事務員と
して働くことが決まってい
ます。夢であった医療事務
員として働くことに期待と
不安がありますが、学んだ
知識と技術を活かし、患者
さんの心に寄り添ってい
たいと思います。

私たちは、大学や専門学
校で学んだり、就職し懸命
に働いたり、さまざまな
道を歩んでいます。これか
らの社会を担う人間の1人
として、何事にも挑戦して
いきたいです。

そして、生まれ育ったこ
のふるさと「平戸」へ感謝と
愛情をもって、先の長い人
生を優しく力強く歩んでい
きたいと思います。



はりお ゆうり
針尾 侑里さん
(南部地区)

本になりたい自分に

一昨年の2月から、私た
ちは新型コロナウイルスの
流行により、不安が付きま
とい、挑戦的に行動できな
い状況にいます。

この成人式を機に、自分
が本気にやりたいことを考
えたいと思います。イギリ
スの作家ジョージ・エリ
オットは、「なりたかった自
分になるのに遅すぎる事は
ない」という名言を残してい
ます。なりたい自分になる
ためには失敗は避けられな
いものですが、失敗を恐れ
ずに挑戦していきましょう。

私たちが生まれ育ったこ
の「平戸」がさらに活性化す
るために、今まで育てても
らった恩を返せるように、
私たちにできることを頑張
りましょう。



おおいし まこと
大石 真樹さん
(田平地区)

令和4年平戸市成人式 実行委員会

社会人として決意を胸に出発



実行委員長 **岩本 悠希さん**
(南部地区)

現在、平戸市役所建設課に勤務し、国土調査に関する業務に従事しています。まだ仕事に慣れるので精一杯ですが、これから少しずつ平戸市のために貢献していくために、日々努力しています。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症が猛威を奮い続ける中で、中止になるのではないかと不安でした。全国的に感染状況が落ち着き、予定どおりの開催となったことを、本当に嬉しく思っています。

この日を迎えるにあたり、まず何より、教育委員会の皆さんをはじめ、開催に尽力していただいた地域の皆さんには、感謝の念に堪えません。

また準備期間には、各地区代表の実行委員と打ち合わせを重ねるうちに、メンバー同士の団結が生まれ、積極的に意見を出し合いながら推進することができました。

そして、式典での挨拶や司会などを依頼した際には、「人生で1度の晴れ舞台なので、ぜひ協力したい」と、皆さん快く引き受けてくれました。

このようにたくさんの人たちの協力のもとで、とても一体感のある式典になったと感じています。

私たち新成人は、「久々に同級生と顔を合わせた喜び」、「それぞれの地で切磋琢磨していく誓い」、「平戸で育まれたことへの感謝と恩返し」の決意など、さまざまな思いで式典に臨み、新たな出発を切ることができました。

私たちのために盛大な式典を開催いただき、本当にありがとうございました。

平戸市成人祝賀会 実行委員会

開催に尽力いただいた皆さんへ感謝



実行委員長 **本山 卓さん**
(中野地区)

現在、熊本県で土木業に従事する傍ら、平戸市へ足を運び実行委員長として準備を重ねました。今後は、経験を積んだ上で、資格を取得し、平戸に貢献することを目指しています。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、全国で成人式中止の決定が次々と下されていきました。その中で、まだ感染拡大の波が来ていなかった平戸市では、新成人である私たちのために、直前まで「絶対に開催する」と準備が進んでいました。

しかし、県内で急速に感染が拡大し緊張感に包まれる中、「万全を期して成人式を挙行したとしても、後に市内で感染者が出た場合、帰省し密の状況にあった新成人が非難される可能性があり、その状況を避けるために成人式を中止する」との連絡をいただきました。

当時、一生に1度の節目

の祝いの式典が中止となることには断腸の思いでしたが、市長や教育委員会の皆さんの「必ず代替行事を行います」との言葉にとっても勇気をいただきました。

そこから5月、8月と機会を伺いながらも、感染状況により断念することを繰り返し、今回ようやく1年越しに、代替行事「成人祝賀会」を開催できました。

実行委員をはじめ、令和3年の新成人一同、この喜びをかみしめつつ、この困難な状況で社会を担っていく決意を新たにしています。

1年以上にわたり、開催に尽力いただいた皆さんへ、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



実行委員長 **岩本 悠希さん** (南部地区) | 委員 **山野 海優さん** (生月地区) | 委員 **大久保 晃司郎さん** (田平地区) | 委員 **石田 将貴さん** (中部地区) | 委員 **長崎屋 航太さん** (平戸地区) | 委員 **立石 博信さん** (大島地区) | 委員 **濱田 啓太さん** (生月地区) | 委員 **本山 卓さん** (中野地区) | 委員 **夫木木 蓮さん** (田平地区) | 委員 **小楠 綾香さん** (南部地区) | 委員 **阿立 実里さん** (中部地区) | 委員 **今村 若葉さん** (平戸地区)